

F2: HTTP Meeting 2008 ~ Webサービスの明日を見つけよう

4) Web関連技術の最新動向(2) - OpenID

ご説明資料

2008年11月26日

OpenIDファウンデーション・ジャパン
発起人代表

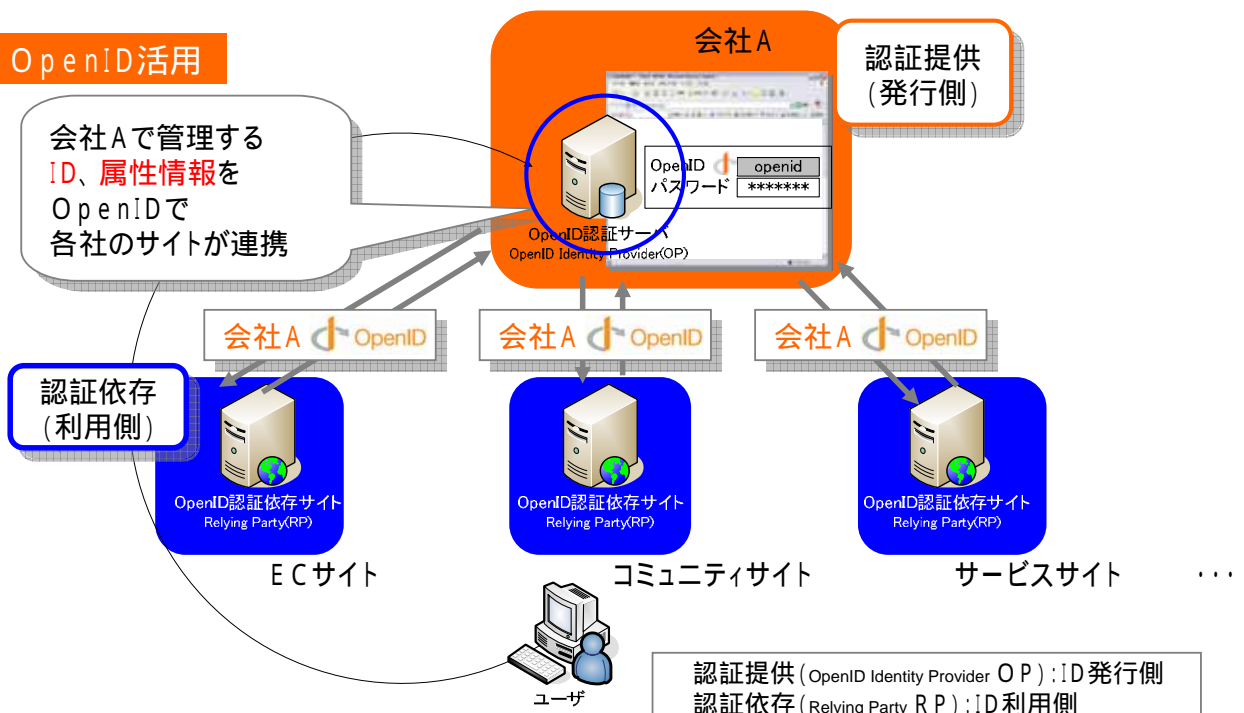
野村総合研究所 崎村夏彦

OpenIDの特徴



「普段自分が使うID」を使って、複数サイトを使えるようにする技術

OpenID活用



【ご参考】OpenIDの認証シーケンス

ユーザは認証依存サイトでIDを入力する。

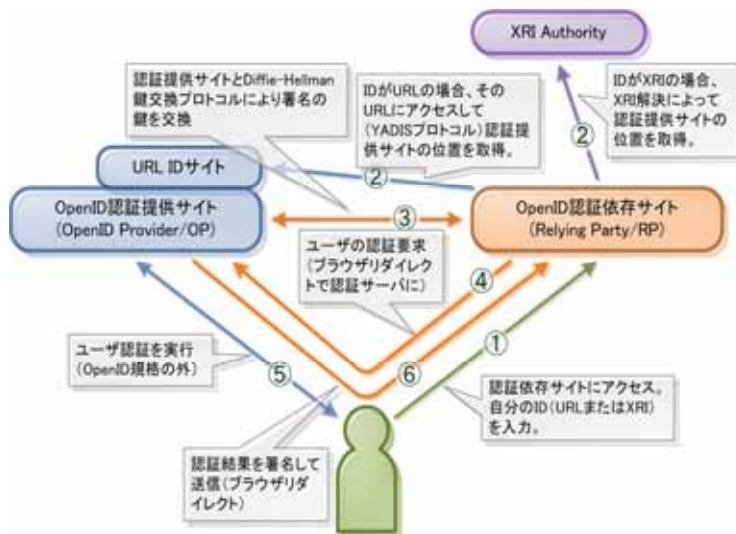
認証依存サイトはIDから認証提供サイトの位置を取得する。

認証提供/依存サイト間で署名用の鍵交換を実施する。

ユーザのブラウザを認証提供サイトの認証画面へリダイレクトする。

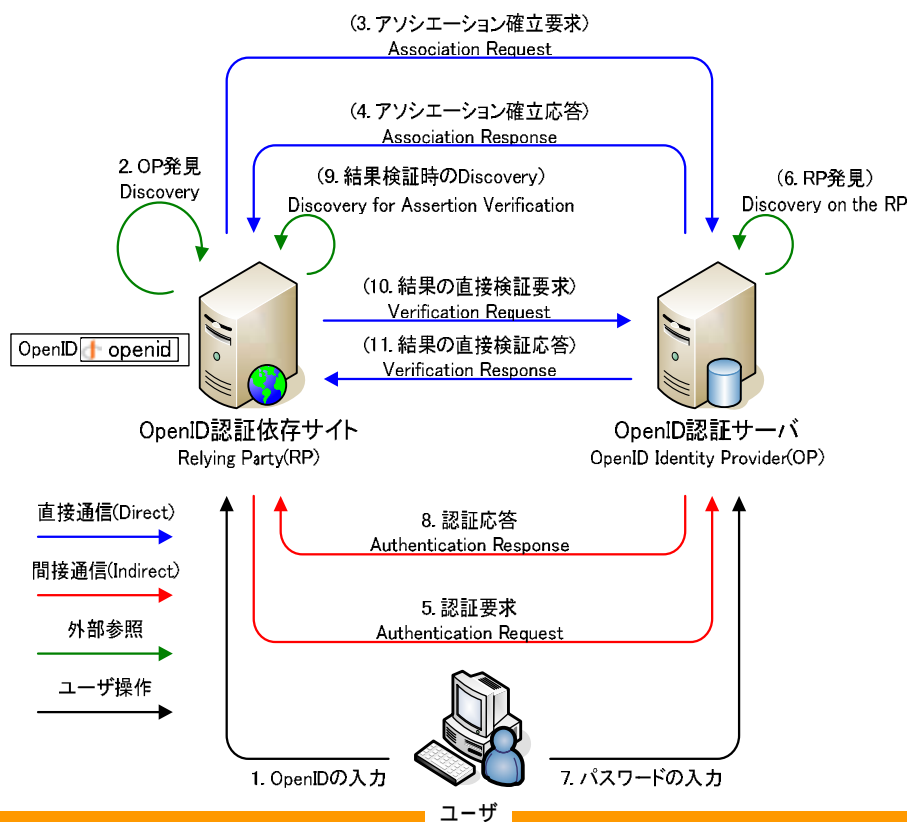
ユーザは認証提供サイトでパスワードを入力し、認証を受ける。

認証提供サイトはブラウザリダイレクトを利用して署名した認証結果を認証依存サイトへ送る。

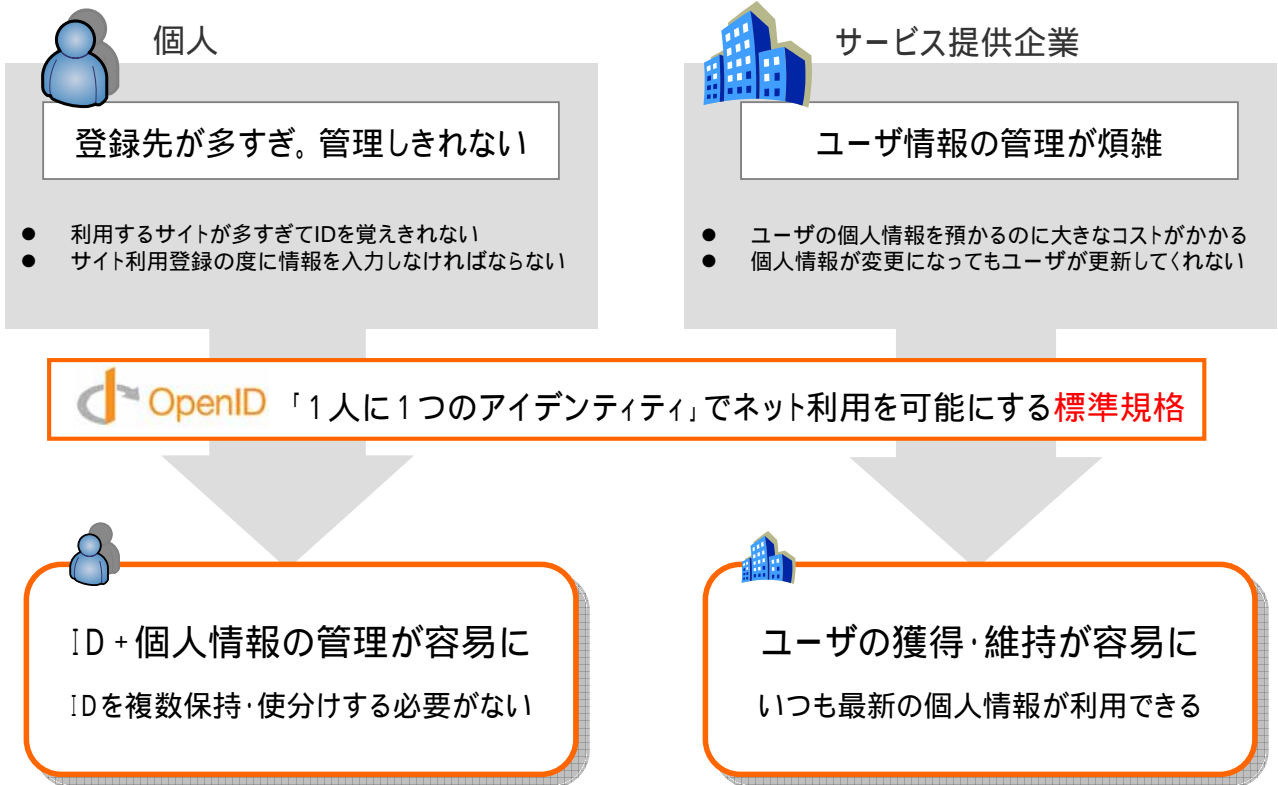


XRI...URLを拡張したID体系の規格 (「=person」「@company*user」等)
YADIS...URLからそのURLの持ち主が利用する (認証) サービスを取得するプロトコル。

【ご参考】OpenIDの認証シーケンス



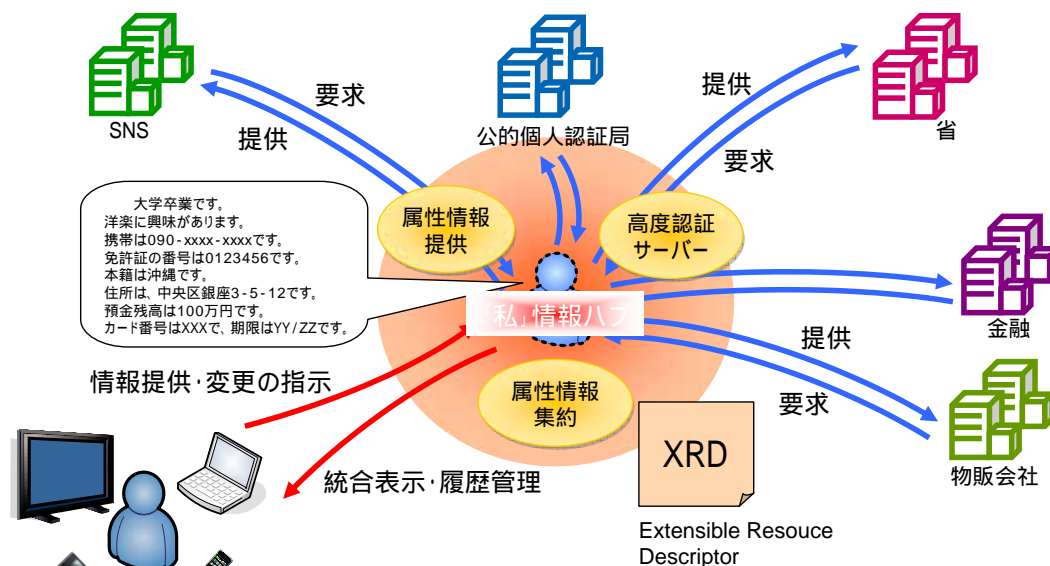
OpenIDが生まれた背景



ベンダーセントリックからユーザーセントリックへ

これからは「ユーザーセントリック」

- 「私」の情報は、「私」のもの。
- 「私」の情報は、「私」が管理する。
- 「私」の情報は、いつ、誰に、何の目的で、どの内容を提供したかを常に把握する。



直近の動向



OpenID

OAuth

InfoCard

- XRD (旧XRDS-Simple) @OASIS
(OpenIDに関して)YADISの置き換えとして、XRDをXRI Resolution Spec から外出し、
不必要な要素の多くを削除、SimpleSignおよび、Public Key Discovery を定義



- Provider Authentication Property Extension (PAPE) 1.0
60日間レビュー中
- Contract Extension (CX, 旧TX)
Protocol部分は、AXを大幅改訂する方向を模索。
別途、Contract Format をそのProfileとして定義。
WGは2週間程度で作成される見込み。
Simple Sign と Public Key Discovery は XRDのものを使う方向 OASIS
- OpenID Authentication 2.1
E-mail をIDとして使うのは別WGに分かれて、Clarification と署名方法の追加、現在の
YADISリファレンスをXRDに変更、他を行う方向
- OpenID-OAuth連携
WG準備中

Concordia

- OpenID-SAML連携のデモ@RSA2009

より多くの皆様の入会をお待ちしております。



OpenIDファウンデーション・ジャパン


Tel : 03-6267-9122

Fax : 03-6267-9111

Email: contact@openid.or.jp

URL : <http://www.openid.or.jp/>



 **OpenID** × your idea.
